ふくだ Fukuda

滑川町立福田小学校　学校だより

6月号

令和　5年5月29日

電話　0493-56-2651　　FAX　0493-56-2643

校長　上野　修

ユニバーサル・ホスピスマインド～身近な人を支える～

生命は
自分自身だけでは完結できないようにつくられているらしい
花も
めしべとおしべが揃っているだけでは不充分で
虫や風が訪れてめしべとおしべを仲立ちする
生命は
その中に欠如を抱だきそれを他者から満たしてもらうのだ
世界は多分　他者の総和
しかし
互いに欠如を満たすなどとは知りもせず
知らされもせずばらまかれている
無関心でいられる間柄
ときにうとましく思うことさえも許されている間柄
そのように世界がゆるやかに構成されているのは
なぜ？
花が咲いているすぐ近くまで虻の姿をした他者が光をまとって飛んできている
私も　あるとき
誰かのための虻だったろう
あなたも　あるとき
私のための風だったかもしれない

吉野　弘

小学6年生の鎌田紗叶さんは、保健室での出来事を話した。イライラしてモノを投げたり、たたいたりする子がいた。「どうしたのよ？」と聞いたりしない。つらいとき、聞かれても困るから。自分もそうだった。だから黙ってそばにいた。「そうしてその子と、一緒に遊ぶようになりました」。紗叶さんは言う。「人は変わります。変わるってすごいことです」。隣でママが、泣きながら聞いていた。

令和五年四月三十日、毎日新聞

「なぜ私だけ、こんなに苦しまなければいけないの？」「私はこの家に必要のない人間かも」「誰にも私の気持ち、わかってもらえない」･･･程度の差こそあっても、皆さんもこのような気持ちになったことがあるのではないでしょうか。誰にも言えず悩むのですが解決しない。そして、思い切って誰かに相談するのですが･･･「そんなことたいしたことないよ」「そんなふうに考えちゃダメ！そんな弱気でどうするの？」などと取り合ってもらえなかったり、否定されてしまったりして、結局「誰も私のことなんてわかってくれない」とますます落ち込んでしまう･･･

私も過去を振り返ってみると、このような経験がたくさんあります。そして、逆に、親身になったつもりで困っている人の相談相手になるのですが、相手を励ますどころか、却って悲しませてしまったこともたくさんあります。私は、どうすればよかったのでしょうか･･･

新聞で「エンドオブライフケア（ELC）協会」代表理事の小澤竹俊さんというホスピス医の存在を知りました。小澤さんはホスピス（死が迫っている患者の苦痛を最小限にすることを目的とするケア）の現場で、患者さんの「こころ」を救ってきた人です。「まもなくお迎えがくるという解決困難な苦しみを抱えながら、なお穏やかに過ごす人たちから学んだこと。それは、『私の苦しみ、誰にもわからない』と絶望を感じていた人が、たった一人でも、自分の苦しみをわかってくれる人がいると感じたときに、自分を認め、穏やかさを取り戻す可能性があるということです」小澤さんの言葉です。

小澤さんは、はじめは患者さんから学んだこの「ホスピスマインド」を持つ専門家の育成に力を入れました。ところが、ホスピスマインドを伝えたいと学校に出向いて「いのちの授業」を続けるうちに、「解決できない苦しみ」は誰でも抱えており、専門家任せにせずに皆で学びたいという思いが強くなりました。そして、「すべての人のそばにホスピスマインドを･･･」という意味でユニバーサル・ホスピスマインドという考えが生まれました。一般に「ホスピス」では、死を前にしても穏やかに生きることを目指しますが、ELC協会では、死に限らず、病苦、貧困、いじめなどあらゆる困難に直面する人を、子供から高齢者まで皆で支えることを目指しています。心を動かされた私は、小澤さんの著書「折れない心を育てるいのちの授業」を手に取りました。

読了して「私は、どうすればよかったのでしょうか･･･」の疑問に対する答えのヒントを得た思いがしました。それは、一つは「傾聴」ということです。「聴」という漢字のつくりから傾聴には「耳」と「罒（目）」と「心」を傾けて、相手のメッセージを受け取るという意味を見いだすことができます。「相手の目を見ながら」「頷きながら」「相づちを打ちながら」「言葉にならない言葉を」聴くことが大切だということです。もう一つは受け取ったメッセージを「苦しかったのですね」「悔しかったのですね」「悲しかったのですね」などと「口（言葉）にして返す」ということです。

私には苦い思い出があります。１９年前、入院中の父に付き添っていると父が「夏までは生きられないと思うんだ」と言いました。私はとっさに「何を言っているの。しっかりしなきゃ」とはぐらかしてしまいました。父は、悲しい目をしていました。その時の父は、死に対する恐れもよりも「わかってもらえない」という思いのほうが強かったのではないかと思うのです。父はそれから間もなくして亡くなりました。今の私なら「夏までは生きられないと思うんだね」と父の気持ちに寄り添えるような気がするのです。

はじめに紹介した鎌田紗叶さんのような「自分の身近な人を支える人」でいっぱいの世の中を想像してみてください。素敵な世の中だと思いませんか･･･

児童・保護者の活動、地域の皆様の活動

竹であそぼう！２０２３

5月21日（日）、森林公園内の柳谷沼（やなぎやつぬま）で「竹で遊 ぼう！2023」が今年も実施され、児童、保護者22名が参加しました。竹をのこぎりで切って飯ごうを作り、ご飯を炊きました。ご 飯が炊きあがるまでの時間を利用して、竹でお箸 を作りました。炊きたてのご飯に舌鼓を打ちました。柳谷沼では、今年も「外来種駆除」や「水生生物調査」が予定されています。福田っ子 が自然と触れ合う場所として活用していきたいと思います。御指導 いただきました滑川町エコミュージアム、森林公園の皆様に感謝申 し上げます。

ＰＴＡ　資源回収

5月20日（土）、本年度から会場を谷津の里に変えて、PTA資源回収が行われました。当日は、生憎、小雨交じりの空模様でしたが、無事に実施することができました。児童の皆さんも大活躍でした。おかげさまで20万円分以上の資源を集めることができました。ご協力いただいた谷津の里の皆様、地域の皆様、保護者の皆様に感謝いたします。

歴代ＰＴＡ会長の会　除草作業

「子供たちには、よい環境で気持ちよく学んでほしい」そんな思いから昨年度、「福田小学校歴代PTA会長の会」が発足し、除草作業等の環境整備にご尽力いただいています。今年も、5月6日（土）に除草作業を実施していただきました。歴代のPTA会長の皆様、本当にありがとうございます。

民生委員さん
挨拶運動

新体力テスト

こどもまつり

６月・７月の主な行事予定　※変更が生じる場合があります

6月	3日（土）	運動会
	4日（日）	運動会予備日
	5日（月）	振替休業日
	12日（月）	プール開き
	13日（火）	5，6年　田植え
	15日（木）	PTA総務会
	20日（火）	授業参観・懇談会（1，2年）
	21日（水）	読み聞かせ　授業参観　（3，4年）
	22日（木）	授業参観（5、6年）
	23日（金）	授業参観（なかよし　あすなろ）
	29日（木）	（PTA常任委員会）
7月	4日（火）	5年生社会科見学
	7日（金）	こころの劇場（6年生）
	10日（月）	着衣泳「ういてまて」教室
	12日（水）	5時間授業
	13日（木）	6年生　国会見学　5時間授業
	14日（金）	5時間授業
	17日（祝）	海の日
	18日（火）	給食最終日　4時間授業
	19日（水）	3時間授業
	20日（木）	終業式